

## 概況

調査先卸売業全体の業況を前年同期（23年1～3月）と比較してみると、売上で「増加」した先27%、「変わらず」の先28%、「減少」した先45%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲18となり、前回調査より9ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先14%、「変わらず」の先45%、「減少」した先41%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲27となり、前回調査より4ポイント悪化しました。

販売価格は「増加」した先36%、「変わらず」の先60%、「減少」した先4%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は32となり、前回調査より23ポイント下降しました。

## 調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	DI値
売上	前回(23/12)	5	10	7	▲9
	今回(24/3)	6	6	10	▲18
収益	前回(23/12)	2	13	7	▲23
	今回(24/3)	3	10	9	▲27
販売価格	前回(23/12)	12	10	0	55
	今回(24/3)	8	13	1	32

## 動向

## 【前年同期との比較】

売上、収益は悪化、販売価格は下降しました。内訳をみますと、建設の売上、収益、販売価格が大きく悪化しています。

## 【直前3ヵ月との比較】

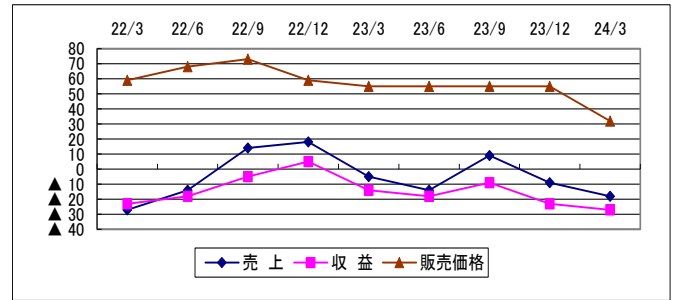
売上、収益は悪化、販売価格は下降しました。

## 【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益は改善、販売価格は横ばいの見通しです。

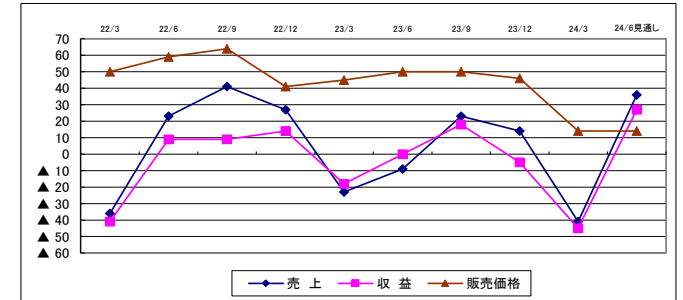
調査員のコメントには、「現在若手不在、後継も不足、情報収集に努めている」、「販売先が抱える事業承継の問題により販売先数の減少が続いており、当社収益も縮小の恐れあり」、「2024年問題、物流コスト上昇の見通しについて価格交渉を行うものの、対応は不透明である」といったものがありました。

前年同期比 DI値図表



調査時期	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3
売上	▲27	▲14	14	18	▲5	▲14	9	▲9	▲18
収益	▲23	▲18	▲5	5	▲14	▲18	▲9	▲23	▲27
販売価格	59	68	73	59	55	55	55	55	32

直前3ヵ月比 DI値図表



調査時期	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6見通し
売上	▲36	23	41	27	▲23	▲9	23	14	▲41	36
収益	▲41	9	9	14	▲18	0	18	▲5	▲45	27
販売価格	50	59	64	41	45	50	50	46	14	14

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	食料品	建設関連	その他
売上額	10月～12月と比較	▲41	▲17	▲78	▲14
	4月～6月の見通し	36	50	45	14
収益	10月～12月と比較	▲45	▲50	▲67	▲14
	4月～6月の見通し	27	17	45	14
販売価格	10月～12月と比較	14	17	0	29
	4月～6月の見通し	14	0	11	29
仕入価格	10月～12月と比較	18	17	0	43
	4月～6月の見通し	14	0	11	29
在庫	10月～12月と比較	18	33	11	14
	4月～6月の見通し	14	33	0	14
資金繰	10月～12月と比較	5	0	11	0
	4月～6月の見通し	9	17	11	0